

公的な
支援制度も

まずは無料の支援で省エネ相談!

1日でエネルギーのムダを見つけます!

無料省エネ診断	今までに 約2万社 が受けています!	省エネ診断のお申し込みや 様々な事例紹介 https://www.shindan-net.jp/	
---------	---------------------------------	--	--

エネルギーの専門家が現場に赴き、原則1日でエネルギーの使用状況を診断します。診断の結果、お金をかけずに出来る省エネと、設備投資による省エネを、具体的な省エネ効果とともに、後日報告書にて提案します。これまでに幅広い業種の方々が受診し、省エネによるコスト削減を実現しています。

省エネのお悩み、なんでも相談!

省エネルギー相談 地域プラットフォーム	全国に 相談窓口があります!	お近くの地域の 相談窓口を検索 https://www.shoene-portal.jp	
------------------------	-------------------	---	--

お近くの省エネルギー相談地域プラットフォームが経営状況や課題に合わせ、さまざまな分野の専門家をコーディネートしながら皆様と伴走しつつ省エネ取り組みに関するサポートをきめ細やかに行います! 豊富な支援実績を持っているエネルギーと経営の専門家が、経営改善につながる省エネ提案や、お得な補助金の紹介・申請のお手伝いを行います!

省エネ設備・機器の導入費用を一部補助!

平成30年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の概要

事業者の省エネ取り組みを支援します! **省エネルギー設備への入替支援**

I. 工場・事業場単位 工場や事業所において、既存の設備からエネルギー消費効率の高い設備に入替えると省エネ対策を行う場合などに、補助金が活用できます。

補助対象経費	設計費、設備費、工事費	例: 最新鋭の省エネ設備機器の導入等とエネマネ事業者を活用し、総工費1億2,000万円をかけて、プラスチック製品製造工場を更新の場合 $1億2,000万円 \times 補助率1/2 = 6,000万円の補助$
1事業あたり補助金限度額	【上限額】 15億円/年度 【下限額】 100万円/年度	

II. 設備単位 下記のような設備を省エネ性の高い設備に更新する場合も、補助金が活用できます。



補助対象経費	設備費	例: 菓子製造工場にて、高性能蒸気ボイラに更新と工場内の約1,000台の照明のLED化により、エネルギー使用量を削減する場合 $6,000万円 \times 補助率1/3 = 2,000万円の補助$
1事業あたり補助金限度額	【上限額】 3,000万円 【下限額】 30万円	

改正省エネ法による、税制優遇 **省エネ促進税制** 省エネ対象設備を導入する際に、税制優遇制度があります。
省エネ対象設備: ボイラー、工業炉、産業用ヒートポンプ、コージェネレーション設備、モータ、変圧器等

経済産業省 資源エネルギー庁

詳細は「省エネポータルサイト」へ!
http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/

パンフレットのダウンロードはこちら!
http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/

専門家のサポートで無理なく・おトクに経営改善。

製造業の皆様

コストカットにつながる情報、教えます!

電力ピーク値を抑え、 生産量を 2.5倍にアップ!?

経済産業省 資源エネルギー庁

いったいどうやって?!
ヒントはここに

その答えは、
“省エネ”です!

“省エネ”が
コスト削減も、
業務改善も、
人材育成も…
解決します!

 **きっかけは様々…**

2020年に水銀灯の生産が制限され、手に入らなくなることから(LED照明の導入)

製品不具合の原因究明をするにあたり、温度設定や熱を加える時間を変えた

他社から引き継いだ工場の消費電力が非常に大きかった

経営方針として“もったいない”の精神を大切に、無駄なコストの削減を目指した

生産性を上げ品質向上を図る目的で、どこでどのくらいのエネルギーが使われているかを確認したことが始まり

 **こんなにコスト削減できた!**

電力の購入先を大手電力会社から新電力に切り替え、
年間20%程度電気代削減

電気代
20%
カット

製造機器の運用改善と高効率設備への入れ替えで
年間150万円近いエネルギーコスト削減

年間
150万円
カット

24時間体制の製造でもデマンド管理と設備更新で
年間125万円のエネルギーコスト削減
LED導入では国からの補助金も取得

年間
125万円
カット

国から
補助金
取得

使用電力の削減でなく逆に増やすことで機器稼働の
スピードを上げ、使用時間を短縮。結果、部品1つにかかる
エネルギー量を43%削減

エネルギー量
43%
カット

経営課題を見つけ、一つひとつ取り組むことも重要ですが、複数ある課題を同時に解決していく視点を持つことが、近年注目され始めています。

例えば、コスト削減に有効な省エネルギー。

経営課題に取り組むことで結果として省エネルギーもできたという事例や、省エネルギー対策を実施することで同時に他の経営課題の解決につながった、という事例がたくさんあります。

表紙のキャッチコピー「**電力ピーク値を抑え、生産量を2.5倍にアップ!**」は実際に製造業で電力ピーク値を抑

えると、電気の基本料金を抑えることができると考え、大型機械の稼働時間をずらす取り組みを実施。社内で成果を共有し、一体となって取り組むことで、電子機器の基盤1枚あたりの電力使用量を半減させ、生産量が2.5倍にアップしたという事例です。

国の支援制度を上手に利用することで、省エネルギーや経営のプロの支援を受け、効率的に、そしてお得に省エネ対策に取り組むことが可能です。

ここでは、一般社団法人省エネルギーセンターの省エネ事例集や省エネ診断事例、省エネルギー相談地域プラットフォームのヒアリング事例などから集めた製造業の皆様の声をご紹介します。



省エネ≠我慢。特別なことはしなくて良い!

作業工程を見直し、機器の予熱時間を短縮するなど設定変更のみで省エネ完了

トラック何台分のエネルギーをセーブした、等わかりやすい表現で社員に結果を伝えることで、省エネが自然と浸透した

常に使っているわけではない機器を制御する

使用エネルギーが増える時期と場所を確認するだけで、コスト削減効果が大きいところの省エネができた



生まれた**副次的メリット**

LED照明を導入したことによる社内美化
(明るく、ゴミが目につくようになり掃除)

LED照明を導入したことによる生産性向上
(明るく、作業が安全に行えるようになる)

製品不良がなくなった
(製造機器の温度や時間設定等を適切にチューニングした)

機器稼働のスピードを上げ効率がアップしたことで
夜勤がなくなり労働環境の改善に繋がった

公的支援が充実!! カンタン・無料でご相談を!!